

活動名：M&Dラボ・PRONOBU杯第一回少年フットサル大会

日程：7年2月15日(土)～16(日)

会場：川俣町体育館

参加：L100クラス(4年生3名・5年生4名)

帯同：佐藤コーチ

サポート：横山コーチ

結果： 予選セリーグ VS NFCビバーチェ 1-3 ●

VS FORTE福島 2-1 ○

VS ヴェルジナーレ 2-1 ○

決勝トーナメント

1回戦 VS 蓬萊 2-3 ●

順位決定戦 VS 森合帝国 0-1 ●

報告：佐藤

今回、川俣 SSS さんのお誘いを受け M&D ラボ・PRONOBU 杯第一回少年フットサル大会に参加させていただきました。U-11以下の大会ということで、貴重な機会であり、アーレとしてはL100クラスの4年生・5年生の選手でのぞみました。

試合報告

今年度のフットサルの大会は学年毎のチームで参加することが多い中、今回の大会参加はL100クラスの4年生・5年生ということで、普段トレーニングは一緒におこなっているものの、このメンバーで大会にのぞむということは、これまでなかったもので、どんな試合になるか楽しみにしていました。また、参加された他のチームは普段からフットサルに対して積極的なトレーニングをしている強豪チームですので、アーレの選手たちがどのように対することができるかということも楽しみでした。

さて、今回の大会は選手たちに一つのテーマをだしました。ポジショニングです。相手との間合い・カバーリング・ボールを受ける動き・ボールを持っていないときにどこにいるのかなどを特に意識してプレーしようと伝えました。その中で、2日間を通して良かった点・課題を以下のようにあげさせていただきます。

良かった点

・ディフェンスの時に相手にプレッシャーをかけ続けることができた。第一試合では、間合いを開けてしまい自由にプレーさせることが多かったのですが、二試合目以降は間合いを詰めて、相手の嫌がるようなプレッシャーをかけられました。またインターセプトすることも何度も見せてくれました。

・シュートの場면을何度も作ることができました。ゴール前での相手の逆を取る動きやミドルレンジからのシュートなど、どのチームに対してもチャンスの場면을多く作ることができました。

・自分たちでの行動。コーチたちが試合前後の審判等の関係で自分たちでのアップ・ダウンをしました。心配をよそに、しっかり自分たちで行うことができました。

#### 課題点

・マークの付き方。失点のほとんどが相手のマークの付き方が悪かったことによります。コーナーキックやキックイン、特にゴール前で相手の一瞬の動きでマークをはずされたことで失点してしまいました。相手の狙いを感じてマークをつくことができるようになっていきましょう。

・得点につなげる力・技術をつけよう。天をみあげる場面が何度もありました。チャンスをものにできる決定力。特にしっかりボールをとらえられる技術をつけていこう。

これ以外にも良かった点・課題はいろいろありますが、今回の大会で選手たちが一番良かった点は、気持ちを出したプレーをしたことです。得点したい、負けたくないという気持ちのこもったプレーを何度も見せてくれました。大会結果としては思うような順位ではありませんでしたが、この気持ちを持ったプレーはどのチームにも負けていなかったと思います。今度は負けた悔しさをトレーニングにいかし、次の試合でさらに成長した姿をみせてください。

お誘いいただきました川俣 SSS さんありがとうございました。また運営していただきました達南サッカー協会様、県北サッカー協会様貴重な機会をいただきありがとうございます。また、ご父兄の皆様寒い中、応援していただきありがとうございました。





